



晴耕雨読 戸隠分校だより

長野吉田高等学校戸隠分校
教頭通信
令和4年1月5日 No15

新しい年を迎えて ～希望と挑戦を大切に～

新しい年を迎えました。今年一年の、生徒の皆さんや保護者の皆様方、戸隠地域の皆様方のご健勝を祈念申し上げます。また、戸隠地域の皆様方には、戸隠分校への変わらぬご支援とご厚情を賜りますよう、お願い申し上げます。

今年が、新型コロナウイルス感染症が収まり、平和で希望に満ちた年になることを願うばかりです。なかなか先が見通せない世の中ですが、そのような時代だからこそ、希望と挑戦する気持ちを抱くことを大切にしたいと思えます。

古代ローマの哲学者であり詩人でもあるセネカはこう述べています。「人は、それをするのが困難だからやろうとしないのではない。やろうとしないからそれをするのが困難になってしまうのだ。」私たちは困難から逃れようとすればするほど、より強い困難を感じるようになってしまうのです。

また、僧侶の松原泰道さんは、困難や課題を克服する上で、良書に触れることや、周囲の人々の助けが欠かせないと述べています。「読書をしないということは、考えることをしないに等しい。本の中には先人の知恵、苦勞した人の考え方、何でも書かれています。参考にしない手はありません。」「自分の小さな素養だけで人生を乗り切ろうたってそれは無理。やはり、多くの方の知恵を拝借すべきです。」「ひとりでくよくよしてはいけません。誰しも悩みがあるのだから、お互いに相談し合えばいいのです。孤立せず、孤独にならないように、みんなで話し合うように努めましょう。」そして、他者に何らかの貢献をすることが、その人の充実した人生に欠かせないと述べています。「生きる意味は何なのか？ よくそんな質問をされますが、答えは簡単です。すべては他(ひと)のため、自分のためではありません。人は他の役に立つことを目的に生まれたのです。自信を持ってください。あなたはきっと誰かの役に立ちます。」



「そば部」長野市長表敬訪問

そば部が「全国高校生そば打ち大会」で団体戦優勝、個人戦3位の成績を上げたことを、12月17日に長野市長を表敬訪問して報告しました。この度の受賞を、戸隠地域の皆様方のご支援の賜物であることから、戸隠支所長様、住民自治協議会会長様、戸隠分校教育振興会会長様、戸隠そば協同組合の皆様方とともに表敬訪問いたしました。今後も、戸隠分校と戸隠地域とが一体となって、戸隠地域の活性化に貢献して行くことを願っています。



新生徒会発足～後期生徒総会～

後期生徒総会が開かれ、今年度の生徒会活動の中間報告がなされました。議事後、旧役員が退任し、新たな生徒会が発足しました。放課後には新旧執行部会が開かれ、引き継ぎが行われました。「今年の戸隠分校の色」が今後どうなっていくのか楽しみです。



《新生徒会長の抱負》

新生徒会長

私は中学生の時、極度の人見知りでした。人前で話したり友達と会話をするのが苦手で、そんな場面を避け、無意識に壁を作っていました。一人でいることで趣味に熱中出来たりもしましたが、やはり人と関わりを持たずに出来ることは少なく、また将来、果たして自分は自立して生きていくことは出来るのか、不安が大きかったことを覚えています。

そんな状況を脱するきっかけとなったのは、戸隠分校に入学した事でした。「学校は失敗してもいい場所」という先生の言葉に背中を押され、私は失敗を恐れずに何かやってみようと思いました。社会に出た時に失敗しないように、学校を練習の場にしてみたのです。そうして部活動や委員会に入り、仲間や先生、地域の方々と話をしながら自分や他の誰かの為に努力することが出来るようになった事は、大きな進歩だと思っています。

また、学校行事や部活動に積極的に参加するようになって感じたことは、地域の方々との交流の大切さ、そしてご協力のありがたさです。総合的な探究の時間の戸隠太鼓、竹細工、戸隠流忍術、戸隠地質化石博物館での体験学習、分校農場やスキー場での実習など、戸隠分校には魅力的な活動がたくさんありますが、そんな様々な学びの機会は地域の方々の支えがあってこそ成り立っているので大変感謝しております。また、部活動では「そば部」の活動も、地元の製粉会社様からのそば粉の提供や、地元の職人の方々によるそば打ち指導など、欠かせない支えのお蔭で、今年度は見事全国大会優勝という結果を残すことが出来ました。これからも、感謝の気持ちを忘れずに、ボランティア活動や大会出場などで戸隠地域に貢献していきたいと思っています。

魅力溢れる戸隠分校を守りながら、生徒全員でより良い学校をつくって行けるよう、生徒会長として精一杯努力していきたいと思っています。